



通信ゆめじろう

第76号
発行日
2019年10月10日

幸せについて考える秋にしましょう！

少し遅めの夏休みで3連休を頂きました。運の悪いことに夏の無理がたたリ珍しく体調をくずしていました。更に運が悪いことに中日に同窓会の打ち合わせがあり、他愛もない雑談の後、次の5年後の同窓会の幹事というとんでもない当たりくじを引いてしまいました。そんなこんなで初日・2日目は、撮りためたドラマを観ただけでだらだらと過ごしてしまいました。3日目は9月に入ったというのに猛暑日。ささやかでいいから幸せを欲していた私は妻と息子をさそい流行りのかき氷を食べて夏休みの幸せな思い出づくりを試みました。店内に入ると和な雰囲気心が落ち着かせ幸せの演出に華を添えていました。たかがかき氷と思い油断をしていましたがあまりのメニューの多さに自分で選ぶという最大の自由と楽しみを放棄し、店のおすすめメニューを注文しました。「おすすめメニューがあってよかったね」という妻の言葉に心からうなずきました。しばらくすると大きなかき氷が目の前に運ばれてきた。3人で1つでも十分と思ったが、周りの人も食べているので「そんなものか」と食べ始めた。どのかき氷も美味しかった。「おすすめメニューにしてよ

かったね」の妻の言葉にもう一度うなずきました。

幸せはそこまででした。食べ切れなければ大量の蜜や練乳を廃棄することになるという罪悪感との戦いになりました。おまけに店主と思しき男性が「溶けた汁も美味しいから、飲むときはストローも使ってくださいね」とマイクロプラスチック問題も何のそのの発言が環境少女のスピーチに感銘を受けていた私にとどめを刺した。胸焼けとお腹の調子の悪さが残りの半日を台無しにしました。

「苦勞せずお金で買う幸せは長続きしない。人とのつながりや苦勞して得た幸せは長く続く」という前野隆司さんのことばを改めて体感した遅い夏休みになりました。

結局、3日間の一番の幸せは、同級生との他愛もない語らいでした。外れくじと思っていた同窓会幹事の役目も幸せの種なのかとも思えてきました。

今号の共通テーマは「幸せ」です。出口が見えない混沌とした時代だからこそ、本当の幸せを追求していくために活動に取り組んでいきたいと思っています。

(出口)

目次

理事長あいさつ	P1
2019年度中間報告	P2
サポートちた20周年記念行事のお知らせ	P3
ケアマネジャー 高齢者ヘルパー サロン	P4
ホームページが新しくなりました	P5
相談支援事業所 障害ヘルパー ひるじろう(生活介護) ひるじろう(就労継続B)	P6
こじろう サンワコーポ(GH) イベント報告	P7
活動実績 シリーズ「地域の目」 インフォメーション	P8
アクセス 探しています いただきました クロツケカー 編集後記	P9
	P10
	P11
	P12

〒470-2531
愛知県知多郡武豊町大字富貴
字外面85-2

総合・介護

☎0569(72)2963

障害者関連

☎0569(72)0012

障害者相談

☎0569(72)6464

クロツケ専用

☎0569(72)2156

FAX(共通)

0569(72)6454

ホームページ

<https://yumejirou.or.jp>

NPOで地域福祉を進める取り組み

NPO法人ゆめじろう 2019年度中間報告

障害者相談支援

達成率30%

少しは達成

予定した相談員の増員ができておらず、丁寧な相談対応ができなかった。また、スキルアップのための研修に参加する余裕が持てなかった。

今後：人材募集・育成
自治体との建設的な協議

居宅介護支援（ケアマネ）

達成率90%

ほぼ予定通り

利用者本人のみならず、家族の相談に応じ関係機関へ取次等も行えた。
介護者の変化にも気を配り、丁寧な仕事との評価をいただくことも多くあった。

今後：引き続き小回りの利くことの利点を活かした対応を行ってきたい。

ホームヘルパー（高齢者）

達成率50%

ある程度達成

訪問Aの受け入れはありませんでしたが、訪問独自型サービスでは2名の新規受け入れを行いました。外部研修に参加し内部研修でシェアしました。スタッフ減によるコーディネートの問題。

今後：外部内部とも研修の充実。訪問看護・訪問リハとの連携。

ホームヘルパー（障害者）

達成率50%

ある程度達成

支援を行う際に派遣回数が偏らないよう派遣ができた。ただ、希望回数に対し、十分にこたえることはできなかった。課題の人材確保については、十分な成果は得られなかった。また、休憩・休日の確保。残業が増えた。

今後：人材確保への取り組み。

ひるじろう（生活介護）

達成率95%

目標以上の達成

エアコンの入れ替えを行い、猛暑の夏も快適に活動が行えた。これまで部分的にしか集団活動に参加できなかった利用者が、同スペースで活動できるようになった。

今後：利用者が不安なく過ごすため個別の休憩スペースと活動スペースの確保。

ひるじろう（就労B）

達成率90%

ほぼ予定通り

コロッケ材料費が高騰する中、ジャガイモの契約先からの仕入れを増やすことで昨年と同等の売り上げがあった。新商品や季節商品の開発を行った。

今後：更なる売り上げアップ⇒工賃アップに向け販売場所の確保と新商品開発を行っていく。

サンフコーポ（グループホーム）

達成率85%

ほぼ予定通り

週末利用もあり利用日数が増えた。
地域生活支援拠点のニーズにある程度答えることができた。

休日に地域の喫茶店を利用したり、区の行事にも参加し地域とのつながりが増えた。

今後：定員の確保。休日の余暇支援の充実。

こじろう（放課後デイ）

達成率30%

少しは達成

4名の新規受け入れはできたが、祝日の開催、月に一度の土曜開催などできておらず。児童クラブとの連携も十分ではなかった。

今後：町内に放課後等デイサービスが充足する中、どのような展開を行うべきかの検討。

サロン

達成率50%

ある程度達成

オレンジカフェでは、仲間も増え今後の運営について話し合いができています。一方、活動場所の家賃を中心に維持費・運営費の検討が必要になってきた。

今後：サロンを継続し、新しい出会いを作る。

ゆめ市

達成率60%

ある程度達成

予定通り上半期で1回の開催ができた。ゆめじろうを知ってもらい、足を運んでくれる人（出店者・お客）が増加した。一方、活動紹介や困りごとの受信の役割までは果たせなかった。

今後：下半期でも1回の開催。活動紹介や相談窓口としての啓発物品の作成と配布を行う。

きのこプロジェクト

達成率60%

ある程度達成

6月に草刈りの実施。秋のイベント開催の準備を行った。一方、今年は猛暑日が続き、障がいのある人たちが行うパトロール活動が十分に行えなかった。

今後：12月1日(日)「自然公園を楽しもう」イベントの実施

たけのこプロジェクト → 月巻カレー

達成率60%

ある程度達成

月に1回休まずに月巻カレーの開催を行えた。8月にはサービスマーケティングとのコラボ企画「カレー&きもだめし」を実施し大盛況だった。参加者が確実に増えている。

今後：休まず月一回の開催をし、つながった支援が必要な参加者と繋がり続ける。

これからの幸せについて考えるイベントがあります！



日時：2019年12月15日(日) 13:00~17:00

場所：知多市勤労文化会館やまももホール
愛知県知多市緑町5-1

定員：400名

※参加希望の方は、ゆめじろう(出口)まで

プログラム

1. オープニング

アトラクション どれみふぁラソ♪

主催者・来賓あいさつ、映像「20年の歩み」

2. 講演会

「幸せのメカニズム ー幸福学入門ー」



講師 前野隆司 氏

慶応義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教授

幸せには長続きする幸せと長続きしない幸せがある。長続きする幸せのための4つの因子①やってみよう因子 ②ありがとう因子 ③なんとかなる因子 ④自分らしく因子があります。

夢や目標を持ち、多様な仲間と助け合い、前向きかつ自分らしく生きていく人生は幸せです。

3. パネルディスカッション NP0のメカニズム

これまでの活動から見てきた幸せの4因子を、私たちはこれからの未来にどうつなげていくのかを語り合います。



『寄り添う時間』

ケアマネジャー

施設や病院に属さない居宅介護支援事業所として小回りが効くことが強みです。

生きていることは24時間365日休みなく流れています。困り事に時間指定はありません。SOSがあった時には、出来るだけ早く連絡を入れ、必要に応じて訪問しています。土日や祝日、夜間帯もあります。

すぐの対応に「ゆめじろうさんで良かった」と言ってもらえる時があります。

すぐにサービスの手配や手立てが打てない時もありますが、話を聞き一緒に考える…

寄り添うことのできる、その時間を大切にしています。

大きな縛りなく対応できることは、利用者や家族、私たちケアマネにとっても幸せなことです。時には「ゆめじろうさんは、そこまでするの?」と言われることもありますが、生活の中ではそこまで…ここまで…という境界

線はありません。

しかしながら、私たち介護支援専門員（ケアマネジャー）は何でもやってくれる人ではありません。介護支援専門員としての専門性をもち、自分達の出来ること（すべきこと）、出来ないことを理解しながら、関係機関を紹介するなど取り次ぎをすることも多くあります。

私たちの訪問や連絡を待っているということは、私たちの仕事への評価でもあります。これからも一つでも多くの「待っていたよ」をもらえるように、ゆめじろうが居宅介護支援事業所を稼働する意味や必要性について考えていきたいと思います。

（西川）



『幸せを感じる時』

高齢者部門ヘルパー

あなたにとって「幸せ」って何ですか？
色々なご意見があると思います。

「自分でできる幸せ」「やってもらう幸せ」「やってあげる幸せ」

幸せかどうかを決めるのは、自分自身ではないでしょうか？

ヘルパー支援時や、ヘルパーではできない生活を支える為の支援（タイムケア）で、日々感じる事をお伝えしたいと思います。

利用者さんの「にこっ」とした笑顔に幸せな気持ちになります。

「ありがとう」と笑顔で言われると温かい気持ちになります。

日に日に元気になっていく姿を見た時はうれしい気持ちになります。

タイムケアで草取りや庭の手入れが終わった後、利用者さんが庭を眺め、癒されている様子を見た時。

また、利用者さんの部屋以外の片付けをした

後、利用者さんの気がかりが減り、安堵された表情を見た時。

いつも、心の喜びをもらいながら私も元氣と幸せをいただいています。

また、住民スタッフによる「分かち合い」活動では70代の方も活躍しております。草取りや、お墓の掃除、入院時の洗濯などを行っています。

年齢的な事もあるのでその方達のペースで活動しています。

ご高齢の方が地域活動に積極的に参加できる場は、健康や生きがいにもなり、地域で色々な人とふれあう事で、つながりも深まります。

私もこの地域で「何ができるか?」「何が求められているか?」

日々、皆さんの声をきちんとお聞きし、考えていきたいと思っています。

（靱山）

『つながりの大切さ』

サロン

ゆめじろう茶屋ではいろいろな集まりを行っています。

高齢になってくると一人で外出ができにくくなり、近所の友達や友人と会えなくなってしまう事が多くあります。そんな友人や知人とサロンで久しぶりに出会うという場面を何度か経験してきました。それぞれの方が自分たちが仲良く過ごしていた時間にタイムスリップしたように楽しく話している姿を目にすることがあります。

また、オレンジカフェでは、全国の銘菓を毎月厳選して取り寄せています。参加された方の故郷のお菓子の場合もあり、昔の思い出を楽しそうに話される事もあります。

人や物は、その人にとっての楽しかった時間につながっているように思います。

こんな「つながり」を提供できる瞬間に幸せを感じます。

皆さんもどうぞサロンにお越しください。もちろん仲間とでも一人でもかまいません。

(小藤)

オレンジカフェ企画

映画会「毎日がアルツハイマー」

ひろこさんは認知症。娘のカメラを通した日々の暮らしは、愛おしくてチャーミングでも…ちょっと「お〜っと」な親子関係が紡がれていきます。関口祐加監督が自らカメラを回し、二年半に亘って記録してきたアルツハイマーの母との暮らしの動画です。せきぐち家の『毎アル』な日々をお楽しみ下さい。



日時 令和元年12月19日(木)
13:30~15:30

場所 武豊町地域交流センター2階
武豊町忠白田11-1

参加費 無料 申込み 不要

ゆめじろうのホームページが新しくなりました！

<http://yumejirou.or.jp>

※スマートフォン・携帯からもご覧いただけます。



ゆめじろうについて ▾ 障害者福祉 ▾ 高齢者福祉 ▾ 地域活動 ▾ 採用情報 ▾

武豊町・特定非営利活動法人

ゆめじろう

つながるよ あなたの暮らしと ゆめじろう

お問い合わせ

こちらから



SCROLL

[tps://yumejirou.or.jp/](https://yumejirou.or.jp/)

『やりたいことを一緒に』

ある日『（入所している）母にちゃんとしたコーヒーを飲ませてあげたい。一緒に喫茶店に行きたい。いつもは缶コーヒーの差し入れをするが、そうではなく...』との電話がありました。

お母さんのキーパーソンはご本人ではなく、親族の別の方が担われています。お母さんがどういった人なのか？介護度はどれぐらい？外出が自由にできるのか？二人で行けるのか？トラブル発生時にどうなるのか？等、情報の少なさとプラスの希望に、「難しい。」「コンビニコーヒーを届けてみたら？」との回答を...とも思いましたが、ひと呼吸をおいて、母のキーパーソン・関係者、本人の関係者と連絡を取りあいながら、母にタイムケアサービスを導入することで、10月中旬に実現予定です。少し前に『お母さんに何かあったら、相続のことが心配』といった話も出ていたので、息子として母のためにやれることは悔いなくやっておきたいと思われたのか？突然の連絡に面食らったのも事実ですが、母親思いの息子としての当たり前前の思いです。そんな優しいご本人さん

障害者(児) 相談支援

の思いを実現させるために、一緒に打ち合わせをしながら進めていけたらなと思っています。どんな些細なことでもその方の希望・思いを話してもらえ、それを実現させるために一緒に考えられる相談支援専門員でありたいと...

地域で暮らすご本人さんの希望や夢を実現させるためには、地域の方の協力が必須です。新たな方とのつながりもできたりといったありがたい機会をいただくことになり、また、実現した時は何よりも『しあわせなひと時』となります。

(坂本)



『町中でかわす笑顔とあいさつ』

障害者(児) ヘルパー

みなさんは町中で、利用者さんとヘルパーが歩いている光景に、遭遇したことはありますか？障害ヘルパーでは、365日、ほとんど毎日どなたかと一緒に武豊町内をはじめ、半田や阿久比、常滑や名古屋などを歩き、いろんな方とすれ違います。時には、他の利用者さんとすれ違うこともあれば、ご本人の学校の先生や通所先の支援員さん、お友達等とすれ違うこともあります。（ちなみに担当の山田・鮎沢はよくご家族や他事業所の方に、気づかぬうちに目撃されているようです、...）

歩いている時に笑顔であいさつをしてくれる方にすれ違えば、利用者さんの中には、元気よくあいさつされる方、照れる方、にっこりされる方などさまざまです。

もちろん私たちヘルパーもあいさつをし、あいさつが返ってくると、とてもうれしく温かい気持ちになります。たまにこんな質問が返ってくることがあります。「ご夫婦ですか？カップルです

か？」「娘さんと一緒にお散歩いいですね。」「ママとお散歩できてよかったねー」などなど。自分たちが町になじんでいてよかったと思う瞬間です。まだまだ町ゆく方の中には、ヘルパーという仕事を知らない方も、いらっしゃいますが、ヘルパーと外出している光景が当たり前となり、ヘルパーという仕事に憧れてくれる方が出てくると嬉しいです。利用者さんに同行し、楽しく安全に過ごしていただくことも大切なヘルパーの役割ですが、それと同じくらい町に笑顔とあいさつ、そしてヘルパーという仕事の啓発をたくさん振りまくことも大切な役割として担っていきたいと思っています。しあわせの町となりますように☆

(鮎沢)



『小さな幸せ』

ゆめじろうに就職して一年と五か月が過ぎました。しかし私は、先輩のように手際よく仕事ができるわけでもなく、利用者の方とウォーキングに出かければ一番に息が切れ、そうかと言って事務仕事のパソコンも得意ではなく、ワッフルを作らせれば形はいびつで焼きすぎなんてこともしばしばで、自信をもってできるのは荷物運びくらいという成長のなさです。

そんな私ですが、一つだけ自信を持てることがあります。それは、「小さな幸せに気づくこと」です。幸せに大きいも小さいもないかもしれませんが、例えば、朝のお迎え時に利用者の方が元気に「おはようございます！」と言って出てきてくださったら、それだけでもいい一日になるような気がします。

前述のとおり、まだまだ未熟者の私に、利用者の方が「今日の送迎は彩加さん？嬉しいわ」「彩加さんに会えると、それだけで元気が出るんです」「早く彩加さんに会いたかったんだよ」など、あたたかい言葉をかけて下さいます。どれも

ひるじろう（生活介護）

私にはもったいない言葉ばかりですが、そういう時私は、大切な宝物を頂いたような、幸せな気持ちになります。嬉しくて嬉しくて、泣いてしまったこともあります。

べたな話になってしまいますが、やはり私は、利用者の方との関わりの中で幸せを感じることが多いです。利用者の方の笑顔や、まっすぐな言葉に元気づけられ、幸せな気持ちを頂いています。

これからも、自分の周りにある小さな幸せを見落とすことがないよう、気持ちに余裕をもって支援に臨みたいと思います。（山田彩）



ひるじろうでは8月乾杯！昼食会をしました。

『コロッケ販売をとおして感じること

ひるじろう（就労B型）

ひるじろうの就労B型では利用者さんの仕事としてコロッケ製造と販売を行っています。現在は武豊町内で週に3日（4ヶ所）販売をしています。富貴地区夕方の販売では近隣の小学生、「今日は部活が休みだから買いに来れたよ」と少し見ないうちにひとまわり体の大きくなった中学生、学校帰りの高校生、仕事帰りの方、子供さんの送迎の途中で寄ってくださる方、お金を握りしめてひとりでコロッケを買いにくる幼い子供さん（お母さんは車の中で心配そうにこちらを見えています）暑い夏の時期は子育て支援センター帰りの若いお母さんや乳母車を押十分てくる高齢のお客様は少ないように感じられますが、さまざまな年代のお客様がコロッケを買いに来てくださいます。かつてこの地域にあったスーパーにかわりドラッグストアができいろいろな物が買えるようになりましたが、揚げたてカリカリのコロッケを買いに来て下さるのはとても嬉しいことです。大きなイベントでたくさんコロッケが売れることももちろん嬉し

いですが、近隣の方々とのコロッケを通してのふれあいもこれもまた心温まる時間です。ある販売場所では接客を頑張る利用者に暖かい言葉をいただくこともあり、そのような時には以前よりも増して張り切って接客を頑張っています。私自身も人前で話すことが苦手な接客ができているとは言えませんがコロッケを通しての人との触れ合いは嬉しく感謝しています。

（楯貫）



暑い中でのコロッケ販売はサウナです！

『地域の皆さんに見守られ』

こじろう(放課後デイ)

今年も大きな事故や怪我などなく無事に夏休みを終えることができました。スタッフにとって、この期間は夏休みならではの活動や食事の様子などを通して、いつもの活動では知り得なかった子どもたちの様子を知る良い機会です。そして、子どもたちにとっては新しい経験や出会いを通して一歩一歩成長する機会になっていると感じています。プール大好きな小学一年生のSさん、プールに入れない時間も勿論あります。そんな時、最初のうちは我慢できず泣いていましたが、次第に自分の時間がくるのを待てるようになりました。調理の様子を見るのが好きなTさん、調理ボランティアさんとすっかり顔馴染みに。声をかけてもらいながらその時間は何かいい感じに過ごしていました。

去年はINAXへ、今年は「えびせんべいの里」へ、ほぼ全員が体験に行くことができました。せんべい作り体験の常連となり、店員さんがこじろうを覚えてくれ優しく対応してくださったので、安心して楽しくせんべい作りができました。試食は1



えびせんべいの里での絵付け体験

種類1枚ね、とスタッフが伝えたルールもちゃんと守りせんべい試食も楽しめました。

今は通常稼働のこじろうに戻り、近所への散歩や買い物などに出かけています。こじろうたちはお店での支払いに時間がかかることもありますが、笑顔で見守ってくださるお店の店員さんにもいつも感謝しています。

温かく支えてくださる方々との出会いや色々な経験が、子どもたちがこれから社会で生きていく糧になればいいな～、と思いながらのこじろうでの日々です。
(鈴木)

『活動の中で感じる幸せな瞬間』

サンワコーポ (GH)

ある日のスタッフの会話 パート1

A:活動の中で感じる幸せな瞬間ってなんだと思う？

B:散歩に出ていると近所の方が声をかけてくれることかなあ。最近是一緒に出かけて顔を売っているよ。例えばモーニングやランチを近くのお店にいくとか。

回覧板をとどけたり、集金一緒に行ったりね。ごみ捨ても一緒にいくね。

最近はずいぶんホームのことをわかってくれる人が増えていきますね。

B:地域のお祭りに毎年参加をして少しずつ地域の皆さんに認められてきたよ。

A:ちょっとしたきっかけで仲良くなれたりしたし。

C:回覧板を回している時に声をかけてくれたりね。

防災グループのおじさんがホームに来てアドバイスしてくれて、棚も作ってもらったし・・・。

D:涼しくなったら散歩にも沢山行きたいなあ。よしむらストアーにも一緒に行きたいです。

いろんなきっかけを作るのはスタッフがしないとね。出会いは大切にしていきたいなあ。

A:まずは11月の緑区フェスタに参加だね。楽しみましょう。
(出口よ)



地域に繰り出すサンワコーポの住人さん



喫茶店でモーニング！

イベント報告

「月壺カレー」

7月19日「スープカレー」

子ども3名、関係者1名が参加。他、サービ斯拉ーニング学生4名が8月の本番に備え練習を兼ねて参加しましたが。ヘルパー学生3名。その他スタッフ。持ち帰りも含め27食のカレーを提供しました。



7月のスープカレーとわらび餅とチラシ

8月9日「カレー＆きもだめし」

(日本福祉大学サービ斯拉ーニング学生コラボ企画)
子ども19人、大人20人が参加し盛大に行われました。こどもたちにきもだめしは大盛況で、募集定員の20人を超え応募があり、お断りをしたケースが10名弱ありました。カレーは子どもでも食べられるように市販の



大活躍したサービ斯拉ーニングの学生たち

カレーベースに炒め玉ねぎとトマトで味を調節。食材は頂きものの、ジャガイモ、かぼちゃ、米、スイカ(デザート)を活用させていただきました。

子どもたちの他に、ご近所の方も参加いただき、「次回も参加したい」「食べるだけでなくお手伝いもしたい」とうれしい言葉をいただきました。

学生「人数が多かったので、カレーの提供だけでも大変でしたが、きもだめしも含め概ね時間通りに行うことができました。きもだめしは子どもたちに大盛況でよかった。」と大きな成果が得られたようです。

(出口)

●ちくわサラダコロツケ惜しまれつつ終了

前号で紹介させていただきましたちくわサラダコロツケですが、思いのほか売り上げが振るわず終了する運びとなりました。お買い求めいただいたみなさまありがとうございました。

これに懲りず、じろちゃんコロツケは新製品づくりに取り組んでいきます。(じろちゃんコロツケ)

龍宮まつり大盛況！

昨年度雨のため流れてしまった龍宮まつり、今年は天候に恵まれ盛大に行われました。

今年度は新たに地域の若竹子ども会の有志のお店も加わり、これまで以上に地域の人と一緒に作り上げるお祭りとなりました。

ステージイベントではたけとよスマイル体操の実演もあり、小さなこどもさんからお年寄りまで、元気に体操を行いました。反省会では、これから先もつづいていくよう若者たちを巻き込んでいきたいとの意見がありました。(出口)



沢山のお客さんと賑わう出店

活動実績

ゆめじろうの活動の一部を紹介



- 7月12日 (金) スタッフ研修「救命救急」
7月18日 (木) 武豊町ケアマネのつどい全体研修「多職種連携」(西川、小藤、井田)
7月19日 (金) 月々カレー「スープカレー」
7月22日 (月) サポートちた常務理事会(出口し)
7月31日 (水) ゆめじろう理事会
8月～ 日本福祉大学サービスラーニング受け入れ
8月9日 (金) 月々カレー「カレー&きもだめし」
8月21日 (水) スタッフ研修「ゆめじろう各事業の紹介」
8月21日 (水) 武豊町ケアマネのつどい(井田)
8月21日 (水) 知多南部3町福祉教育学習会(坂本、田中)
8月22日 (木) 在宅医療介護連携のための多職種研修会「すこやかクリニックの在宅医療」
(瀧本、初山、井田)
8月30日 (金) 武豊町地域包括ケアシステム推進協議会地域資源一覧表作成WG(小藤)
8月31日 (土) 龍宮まつり
8月31日～ 日本福祉大学社会福祉学部実習生2名受け入れ
9月18日 (水) 武豊町ケアマネのつどい(西川、井田)
9月19日 (木) 指定障害福祉サービス事業者等集団指導(坂本、榊原ゆ、山田ゆ、安江)
9月20日 (金) スタッフ研修「モチベーションアップ研修」
9月24日～25日 相談支援従事者初任者研修講義部分(山田け)
9月25日 (水) 武豊町地域包括ケアシステム推進協議会第2回生活支援部会(小藤)
9月27日 (金) サービスラーニングリフレクション(出口し)
9月27日 (金) 月々カレー「お月見ドライカレー」
9月28日 (土) グループホームスタッフ研修・情報交換会
9月28日 (土) 『協働のまちづくり講座』伝わる広報・情報発信のポイント
(出口し、吉野、谷本)

シリーズ 地域の目

若者 に聞いてみた！

「ゆめじろうって何しているところ？」

第2回の今回は、社会福祉士の実習でゆめじろうに1か月間来ている日本福祉大学の学生二人にゆめじろうがどのように見えているかをインタビューしてみました！

ゆめじろう「ゆめじろうは実習先に決める前から知っていましたか？」

Aさん「はい、僕は武豊町で下宿をしているので！」

Bさん「私も近くの放課後デイでアルバイトしているので、こじろうは知っていました！」

ゆめじろう「おお！じゃあコロケカーはどうです？ゆめじろうが作っているっていうことも知っ

ていました？」

Aさん「町中で見たことがあります、ゆめじろうがやっていることも知っていました！」

Bさん「コロケカーは知っていたけど、ゆめじろうだとは知らなかったです」

【結論】

大学の下宿先が武豊町にもあるので、先輩や友人から聞いたことや見たことがある人も多いようです。二人ともゆめじろうを実習先に決めた理由に周りからの勧めもあったそうなので嬉しいことです。学生の力はゆめじろうに必要不可欠ですから、もっと広めていく必要があります！

／ゆめじろう／



インフォメーション

自然公園を楽しもう！

出演者募集中！

音響を使わない演奏・歌など
素人大歓迎！

※雨天中止！

12/1 (日)



日時：2019年12月1日(日) 10:00～13:00

場所：武豊町自然公園(展望広場) 武豊町富貴権兵衛新田1-2

内容：①スタンプラリー「自然公園一筆書き」、②ハンモックガーデン、③森の工作教室、④森のカフェ、⑤森の音楽会

参加費：無料 森のカフェのみ 協力金(ワッフルセット200円)をいただいております。

つきいち

月言カレーの予定

10月 10月18日(金) 18時～20時
「グリーンカレー」

11月 11月15日(金) 18時～20時
「季節のカレー」

12月 12月13日(金) 18時～20時
「カレーパンを作ろう」

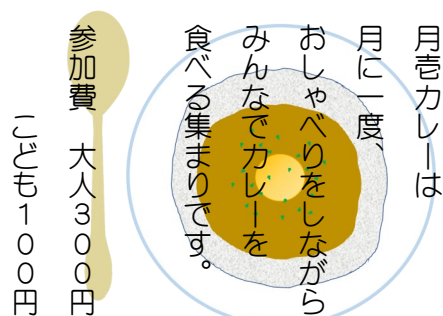
問い合わせ 月言カレー担当

☎0596-72-2963 まで

●ゆめひろば営業の再開をいたします。

前号で紹介ご案内させていただきました、ゆめたろうプラザ内 喫茶「ゆめひろば」ですが、

9月18日(木)より通常営業を再開いたしました。これまで同様お引き立てくださいますようお願いいたします。





Yumejirou

Non-Profit Organization

GHサンワコーポ
知多武豊駅より徒歩10分
上ヶ駅より徒歩10分

武豊歯科駐車場
上ヶ駅より徒歩3分
コロッケ販売所
(毎週水曜日16時～18時)

武豊インター
知多半島道路

名鉄上ヶ駅
名鉄知多武豊駅

ゆめじろう
富貴駅より徒歩4分
武豊ICより車で7分
コロッケ販売所
(毎週金曜日11時～12時半)

こじろう
富貴駅より徒歩5分
武豊ICより車で7分

富貴小

ワエルシア
ヨメリ
カマミ

富貴ヨットハーバー

富貴駅前
富貴駅より徒歩0.5分
コロッケ販売所
(毎週火曜日16時～18時)

ゆめじろう茶屋
富貴駅より徒歩2分
武豊ICより車で7分

ゆめじろうくん 秋 kato

どんぐりだ～!



こんどは きのこだ～!



さつまいもなら
あれがつかれるなあ～



秋といえば
やっぱり これだね!!



探しています！

- ひるじろう ハンガーラック ツリーラック
エアロバイク 絵の具 新品タオル
月巻カレー用米
- 相談 子ども用座位保持装置

いただきました！

- かぼちゃ、じゃがいもなど
津灘さん、澤田さん、前島さん、原田さん、水野さん他より

コロッケカー出店情報

火曜日 武豊町役場(正面玄関)

11:30～13:00

富貴駅(踏切西側)

16:00～18:00

水曜日 武豊歯科(駐車場)

16:00～18:00

金曜日 ゆめじろう(駐車場)

11:00～12:00

「コロッケカーでお待ちしています」

Tel 0569-72-2156(ニーちゃんコロッケ)

編集後記

今回の通信に向け、広報委員3名で広報についての研修に参加しました。どれも新鮮な内容で、勉強になることがたくさんありました。その話の中に、団体のイメージはロゴから伝わるという話がありました。普段から何気なく使ったり見ている“ゆめじろうくん”ですが、みなさんはどんなイメージを持っていますか？

(広報委員:谷本)